

2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	山根 正夫	職名	教授	学位	教育学修士
----	-------	----	----	----	-------

研究分野	研究内容のキーワード
障害や特別な支援のニーズのある子どもの保育、療育について・保育ソーシャルワーク	障害児保育・知的障害・発達障害・応用行動分析・保育ソーシャルワーク

研究課題
障害児（者）の支援について行動分析学の立場から検討する。 保育場面におけるソーシャルワークの在り方について検討する。

担当授業科目
児童・家庭福祉、障害児保育、社会的養護Ⅰ、社会的養護Ⅱ、特別支援教育論

授業を行う上で工夫した事項（※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項）
<p>授業科目名【児童・家庭福祉】 社会福祉士養成のための必修科目であるが、児童・家庭福祉の変化の歴史を押さえ時々の社会情勢の変化等にも言及し今日の児童・家庭福祉についてパワーポイント資料を用いて解説した。学生個々が単なる制度の理解に留まるのではなく本質的な部分についても考察していけるように配慮した。</p>
<p>授業科目名【障害児保育】 子ども家庭福祉コース3年生のみが受講。演習系科目であり、副読本についてノート作成し提出を求め、点検の上返却し後期の教材とした。また、お互いに分担して調べた内容について、プログラム準備、プレゼンテーション、ディスカッション、教員による解説の流れで授業を進めた。学生にとって自分の担当課題については理解が深まっているが、それ以外の内容の理解についてはばらつきが大きいので、各々の授業のまとめの中で補足的解説をして理解を深めるように配慮した。</p>
<p>授業科目名【社会的養護Ⅰ・Ⅱ】 3年生対象科目で、Ⅰは学科横断的に学生が選択できるが子ども家庭福祉コースの学生のみ受講した。Ⅱについては子ども家庭福祉コースの学生のみが受講できる。Ⅰは講義科目であり社会的養護の概要についてテキストを輪読の上解説した。Ⅱについては演習系科目であり、テキストを参考にして、課題について学生が調べ、プレゼンテーション・討議を通して学習を深める方法をとった。学生がやや制度面にだけ焦点が向けられるきらいがあり、対象者個々の生活実態の臨床的な側面からの学習の深化を得ることができるように解説を加えた。</p>
<p>授業科目名【特別支援教育論】 英語・看護・福祉・栄養の4学科合同授業であった。それぞれの学科学生のレディネスが不明の為、授業中に各学科にまたがって確認しつつ講義を進めた。8回の授業であることから学習内容の不足を補うためにテキストの通読を薦め理解を深めることができるようにテキスト以外の参考文献等も提示した。</p>

学会における活動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本保育学会 福岡教育大学附属障害児治療教育センター研究部員 日本保育ソーシャルワーク学会		平成12年11月～ 平成22年4月～ 平成28年～

2022年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 子ども家庭支援論	共著	2022年4月	教育情報出版	8章特別な対応が必要な支援って、どのような状況なの？ 1 貧困、について担当執筆した。
(学術論文) なし				
(翻訳) なし				
(学会発表) なし				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
なし			

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
なし			

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
社会福祉法人福音会評議員 社会福祉法人喜久茂会理事 北九州市保育事業協会理事 北九州市障害者自立支援協議会委員	地域ネットワーク部会会長	平成29年11月～現在至る 令和元年6月～ 令和1年6月～令和3年6月 令和2年7月～令和5年3月

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）